

**製品名: KLF4 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21595**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | 組換えウサギモノクローナル抗体                                  |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP                           |
| 反応性    | ヒト、マウス、ラット                                       |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG,Kappa  |
| クローン性  | モノクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。               |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質        |
| 精製     | プロテイン A  |

**応用**

|      |  |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200 |
| 分子量  | Calculated MW:55kD;Observed MW:60kD  |

**抗原情報**

|              |   |
|--------------|---|
| 遺伝子名         | KLF4  |
| 別名           | KLF4;EZF;GKLF;Krueppel-like factor 4;Epithelial zinc finger protein EZF;Gut-enriched krueppel-like factor |
| 遺伝子 ID       | 9314.0  |
| SwissProt ID | O43474  |
| 免疫原          | ヒト KLF4 の組み換えタンパク質  |

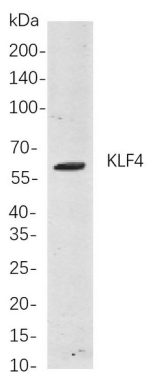
**背景**

細胞局在: 核。この遺伝子は、クルッペル転写因子ファミリーに属するタンパク質をコードしています。コードされているジンク

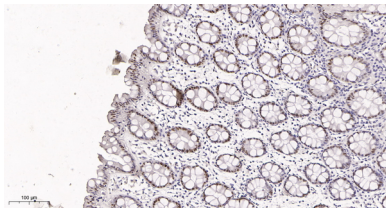
フィンガータンパク質は、皮膚のバリア機能の正常な発達に必須です。コードされているタンパク質は、腫瘍抑制遺伝子 p53 を媒介することで、DNA 損傷後の細胞周期における G1 期から S 期への移行を制御すると考えられています。この遺伝子を欠損したマウスは、外見は正常ですが、急速に体重が減少し、表皮バリア機能の低下に伴う体液蒸発により生後まもなく死亡します。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2015 年 9 月]

## 研究分野

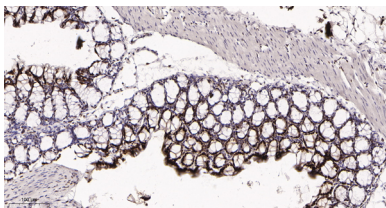
## 画像データ



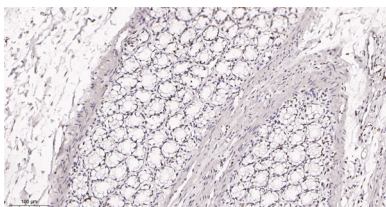
KLF4 ウサギ mAb を用いた HCT-116 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト結腸組織の免疫組織化学分析。1、KLF4 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋マウス結腸組織の免疫組織化学分析。1、KLF4 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋ラット結腸組織の免疫組織化学分析。1、KLF4 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。